

| | | | | | |
|------|-----------|-----|---------------|------|----------|
| 日付 | 2012/11/1 | 企業名 | アドバンテッジ | 生年月日 | 1990/3/9 |
| 受検番号 | 1 | 氏名 | アドバンテッジ ハナコ 様 | 性別 | 女性 |

EQとは

人の思考や行動のもととなる「感情」を、対人関係や組織活動の中で上手に活用していく能力のことです。自分の特徴を把握して自己開発につなげましょう

☆項目の解説

感情の識別…自分自身の感情や周囲の人たちがどのように感じているかを知覚して識別する能力
感情の利用…状況判断や課題達成のために、感情を作り出したり、相手に共感する能力
感情の理解…感情がどのような原因から起こるのか、そしてどのように移り変わるのか理解する能力
感情の調整…周囲の人とうまくやっていくために自分の感情を調整したり、相手の感情に働きかける能力

I. EQのスコア

| | スコア | 35 45 55 65 | | | | |
|-------|------|----------------------------|-------|----|----|-------|
| | | 要開発 | 開発要検討 | 標準 | 優秀 | 非常に優秀 |
| 総合 | 44.5 | | | | | |
| 感情の識別 | 27.9 | | | | | |
| 感情の利用 | 44.4 | | | | | |
| 感情の理解 | 57.0 | | | | | |
| 感情の調整 | 54.9 | | | | | |

II. EQの特徴

EQ（情動知能）は平均レベルよりやや低く、自分自身の動機づけや、変化への対応力、人間関係構築の際の基礎能力を、十分に兼ね備えているとは言えないでしょう。

自分の気持ちを捉え、自分が今どのような感情を抱き、またどうしたいのかがよく掴めません。また、相手の表情や微妙な雰囲気から、その人がどう感じているかを正確に読み取ることができず、また場の雰囲気を的確に掴むことが難しいため、違和感ある反応を示すことがあるでしょう。自分自身や他の人々の気持ちを正しく把握する能力には弱いと言えます。

目的達成のために自らを駆り立てて動機づけたり、仕事を効率的に行うために、その状況に適した感情を自分に作り出すことはやや苦手です。また、相手の気持ちを想像し、相手の立場や状況を共感することが時折不十分になるので、そこから相手をやる気にさせ巻き込む力は発揮されにくいでしょう。自分の感情と相手の感情を扱う能力は弱いと言えます。

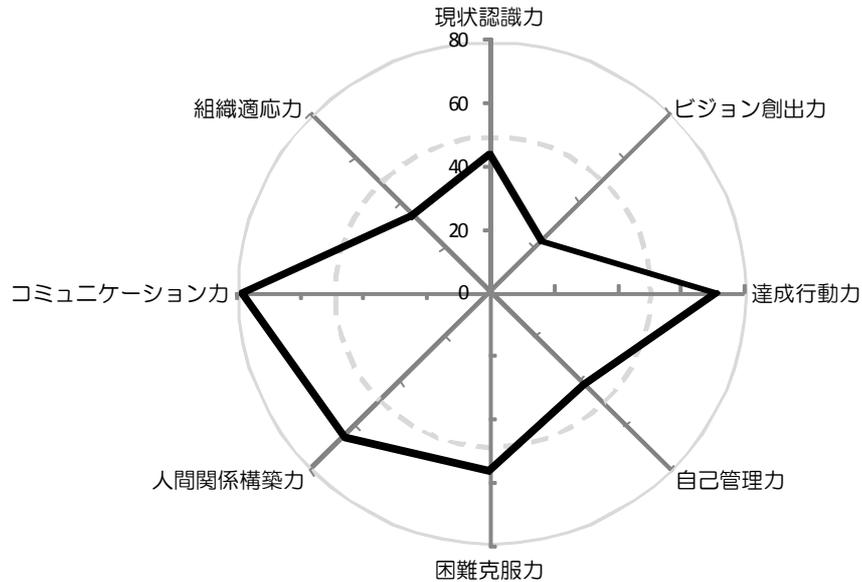
自分や相手の抱いている感情について、その感情が起こる原因を理解できます。また、次の状況下で、自分または相手がどのように感じるかをある程度推測もできます。ある出来事から自分や相手が抱いた感情が、時間経過とともにどう変化していくかを大抵の場合は予測できるので、先手を打つ行動を取ったり、わかりやすく説明することもできるでしょう。

感情的になったりとっさの場面でも、目的達成のために取り得る最善の行動を瞬時に考え判断し、最も効果的かつ影響力ある行動を常にとることが出来ます。相手や状況に応じた最適な関わり方を正確に捉えられ、それに応じて自分の感情をとても上手に調整します。その結果、持てる知識やスキルを十分に活用でき、実績を上げる能力を非常に高く備えています。

コンピテンシー フィードバックレポート 見本(オプション)

| | | | | | |
|------|-----------|-----|---------------|------|----------|
| 日付 | 2012/11/1 | 企業名 | アドバンテッジ | 生年月日 | 1990/3/9 |
| 受検番号 | 1 | 氏名 | アドバンテッジ ハナコ 様 | 性別 | 女性 |

コンピテンシーとは
ある状況における質の高い成果につながる行動特性のことです。学習によって伸ばすことが可能なため、自分の行動特性を把握して自己開発につなげましょう。



| 項目 | スコア | コメント |
|--|------|--|
| 現状認識力 自分自身や状況についての確に把握し、そこから適切な判断をすること | 43.5 | 現状把握のための必要な情報を収集していますが、情報のモレや視点が偏ることがあります。自分自身について、長所や短所を把握したり、自分の行動を振り返って考えることができます。周囲の人々の行動や、状況の変化に気を配るようにすると良いでしょう。また、物事を考える際には、書き出しながら整理をしてみることで、順序だてて考えることができるようになるでしょう。 |
| ビジョン創出力 目的や目標を明確にして、自分の行動や判断に自信を持って行動すること | 23.1 | 他者の指示を待って行動しています。新しい環境や集団に積極的に加わろうとはせず、向上心があまり見られません。サポートやアドバイスがあれば、自分のやりたいことについて明確にしていくことができます。最初から人に頼ろうとするのではなく、まずは自分なりに考え、計画を立ててみましょう。一度取り組んだことは、最後まで粘り強く取り組んでいきましょう。人と同じではなく、自分なりの考えを持つようにしましょう。 |
| 達成行動力 目標に向かって自発的に取り組み、職務を確実に遂行して成果を上げること | 71.3 | 自分の行動・判断に自信を持ち、将来のニーズやチャンスに向かって行動しています。自分自身に対して肯定的な感情を持っており、問題解決や回避のために自分の能力を信じて、積極的に行動を起こしています。現在のこの状態を保つように心がけましょう。ただし、余りに自信過剰になり過ぎないように、時には自分のことや物事について現実的な視点から評価してみましょう。 |
| 自己管理力 自分の感情をコントロールし、物事に冷静に対処すること | 41.7 | 動揺するような状況に陥っても、ある程度、落ち着いたものごとに取り組み冷静な印象を保つことができます。怒りや過度のフラストレーションはどちらかという避けて行動するか、それらの感情を抑制します。カッしたり、いらいらした時などは、心の中で6秒数えたり、深呼吸をしたりして、自分の気持ちを静めるような工夫をし、落ち着いたから、その原因について考えてみましょう。 |
| 困難克服力 困難な物事に直面したときに、問題解決のための行動をとること | 56.1 | 困難な問題に直面しても、自らのアクションプランを策定し、前向きな気持ちで行動します。過去の失敗にもとられることはありません。意識的に気分転換を図り、前向きな姿勢を保ちます。過去の失敗について、時間をとって振り返ることで、その原因を理解し今後に生かすようにしてみましょう。また、日頃から事前準備を心がけることで、将来への不安は少なくなるでしょう。 |
| 人間関係構築力 周囲の人への思いやりを持ち、積極的に協調・協働すること | 64.9 | 人に対して温かみを持って接し、思いやりを示します。相手の感情を尊重し、相手の立場に立って相手を理解しようとします。対人関係づくりも積極的です。組織としての目標に向かって、仲間と協力することができます。人間関係のトラブルに対して苦手意識をもったときも、避けたりせずその原因を探ったり、解決策を考え、自分でできることを実行していくようにしていきます。 |
| コミュニケーション力 他者の話に耳を傾け、意図を正確に理解し、適切に自己表現すること | 78.1 | 複雑な情報や内容を、相手に応じて、適切な方法で簡潔に伝えています。相手の反応を敏感に察知し、話の内容を確認したり、言い換えたりして相互理解に努めます。相手の本当の気持ちと真意を敏感に察知し、適切なフィードバックを与えます。現在のこの状態を保つように心がけましょう。ただし、相手とのコミュニケーションにおいて、受信と発信のバランスが適切かを、常に意識してみましょう。 |
| 組織適応力 組織風土や慣習を感じ取り、相応に行動変容できること | 34.5 | 新しい環境に入る際、ヘルプがあれば馴染むことができ、最低限の期待される行動を取ることができるでしょう。また、サポートやヒントがあれば自分に必要な情報の収集ができ、周囲の人の期待など推測することができます。もっと、周囲の人々のあなたに対する噂や評価に耳を傾けてみましょう。また、人の意見に耳を傾けそれを取り入れ、思い切ってこれまでとは違ったことをやってみるのもいいでしょう。 |